

NBS SUPPORTER'S MESSAGE

本当に、今までも、今も楽しい。

テクニックより好きで楽しいことが一番
 「デザインは、本当に好きか?楽しいか?」
 気持ちを込めて形にした、自分のデザインが
 社会とコミュニケーションして役立つ仕事となる

水谷 孝次 アートディレクター

私は、学校を卒業して33年間も、グラフィックデザインの仕事をしています。“本当に、今までも、今も楽しい”。こんなクリエイティブな「楽しい仕事」は他にないと思う。もう一度、職業を選択しても、この仕事をチョイスするだろう。その理由は、“素晴らしい人と出会うことができる” “多くの人と社会とコミュニケーションができる” “今まで見たことがないものを見ることができる” 等々。とにかく「クリエイティブな楽しい大好きな仕事」を職業にできることが素晴らしい。

私は、大学では電子工学を専攻したが、自由でクリエイティブな「デザインの世界」に入った。確かに学生時代も、駆出し時代も、苦しい思い出はいっぱいあったと思う。が、今思うとどれも

楽しかった。好きな「デザインの仕事」を職業としていることで、本当に幸福感いっぱいだった。良かったと思う。

私は、デザイン・ディレクションする時、①品性、知性 ②現代性 ③デッサン力 の3つをいつも大切にしている。特にデッサン力は重要である。単に絵を描くのではなく、物事を引いて見る力である。そして最近、特に大切にしていることは「デザインは、本当に好きか?楽しいか?」である。仕事として一生やっていくには、テクニックより好きで楽しいことが一番。そんな気持ちを心を込めて形にすれば良いのである。とても簡単で楽しい。自分のデザインが、社会とコミュニケーションして役立つ仕事となる。素晴らしいことである。みなさんも是非がんばって欲しい。



■ 水谷 孝次 | アートディレクター
KOJI MIZUTANI

1951年 名古屋市生まれ。ニューヨークアートディレクターズクラブ(N.Y.ADC)、日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)、東京タイポディレクターズクラブ(TDC)所属。1977年・日本デザインセンター入社、1983年・水谷事務所設立。1980年・ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展特別賞(名誉賞)を皮きりに、同展・金賞、N.Y.ADC国際展・金賞など国内外のグラフィックデザイン界において数々の賞を受賞。「笑顔は世界共通のコミュニケーション」を合い言葉に、1999年より笑顔を撮影したポスター展示やボランティアによるごみ拾いなどを通じて、世界に「Merry(しあわせ)」の輪を広げていく「Merry Project」を開始。2005年・愛・地球博にて「Merry EXPO」開催。この活動に対して「2005年デザイン・オブ・ザ・イヤー賞」受賞。座右の名は「和顔愛語」(2,500年前のブッタの言葉。「笑顔と優しい言葉」の意味。merry)。趣味は現代美術鑑賞、写真撮影。